

第1学年 道徳科学習指導案

令和6年10月17日（木）第5校時

- 1 主題名 苦手なことを避けない 内容項目【A 希望と勇気、努力と強い意志】
- 2 ねらい 自分の苦手なことから逃げないで、しっかり向き合っていこうとする気持ちの大切さについて話し合うことを通して、自分がやらなければならない勉強や仕事は、あきらめずにしっかり行おうとする心情を育てる。

教材名 「マラソン」(出典：彩の国の道徳「きょうも げんきに」埼玉県教育委員会)

3 主題設定の理由

(1) ねらいや指導内容について

指導内容項目A-(5)は、「自分の目標をもって、勤勉に、くじけず努力し、自分を向上させること」を主な内容としている。

人は、得意なことや好きなことについては「やろう」という気持ちになるが、苦手なことや嫌いなことについては、自分に都合の良い言い訳を考え、やらずに逃げてしまいがちである。児童は幼く生活経験も少ないため、自分のやるべき勉強や仕事にはどのようなものがあり、自分がそれをできているかどうかを適切に把握しきれないこともある。そのため周囲の大人の励ましや助言の下、自分のやるべきことを自覚させたり、なぜそれを行うべきなのかを考えさせたりする必要がある。また、それと合わせて、やり遂げたときの喜びや充実感を味わわせ、努力した自分に気付かせるような周囲の働きかけも大切である。そうした相互の経験を積むことで、物事を自分事として捉え、自ら目標をもつことができるようになる。児童が一人の人間として自立し、よりよく生きていくためには、常に自分自身を高めていこうとする意欲をもつことが大切である。そのためには、自分の目標をもってその達成に向けて粘り強く努力するとともに、やるべきことはしっかりとやり抜く忍耐力を養うことが求められる。そこで、自分の目標に向かって、勇気をもって困難や失敗を乗り越え、努力する心情を育てていきたいと考え、本主題を設定した。

(2) これまでの学習状況及び児童の実態について

(略)

(3) 教材の特質や活用方法について

本教材では、マラソンの苦手な主人公のゆきおが、練習を休みたいがために怪我をしたと偽り、体育の授業を見学する。その後、ゆきおは、一人で鉄棒を練習するあきらを見つけ声を掛ける。鉄棒の逆上がりを汗びっしょりで練習し、「毎日、練習しているから、もうちょっとでできそうなんだ。」と言うあきらを見て、自分が苦手なことから逃げてしまったこと

に気付き、次の日には、元気に体育に参加しようと校庭に飛び出していく姿で終わる。

本教材では、苦手なマラソンから逃げていた主人公が、逆上りを頑張るあきらの姿を見て、「自分にもできそうだ。がんばりたい。」と思った場面を中心に、苦手なことを乗り越えていく気持ちを考えることを通して、ねらいに迫るものである。本学級の児童の実態を受け、主に次のことを話し合わせる。

①体育を見学することになったゆきおの心の葛藤。

ここでは、「自分はずるいことをやってしまった」「走らずにすんでよかった」と葛藤するゆきおの気持ちに共感させる。

②公園であきらの話を聞いたゆきおの心の変化。

主人公「ゆきお」の気持ちだけではなく、あきらの気持ちも考えることで、多面的・多角的に考えさせる。「逆上りを一生懸命練習するあきら」と、「体育を見学してしまった自分」を対比することで、これからの自分(ゆきお)の在り方を引き出せるように話し合う。

③元気に校庭に走っていくゆきおの思い。

「あきらめずにやろう」「苦手でも頑張ろう」というゆきおの思いを押さえ、自分がやらなければならないことをやりとげることが大切であるという考えを押さえる。

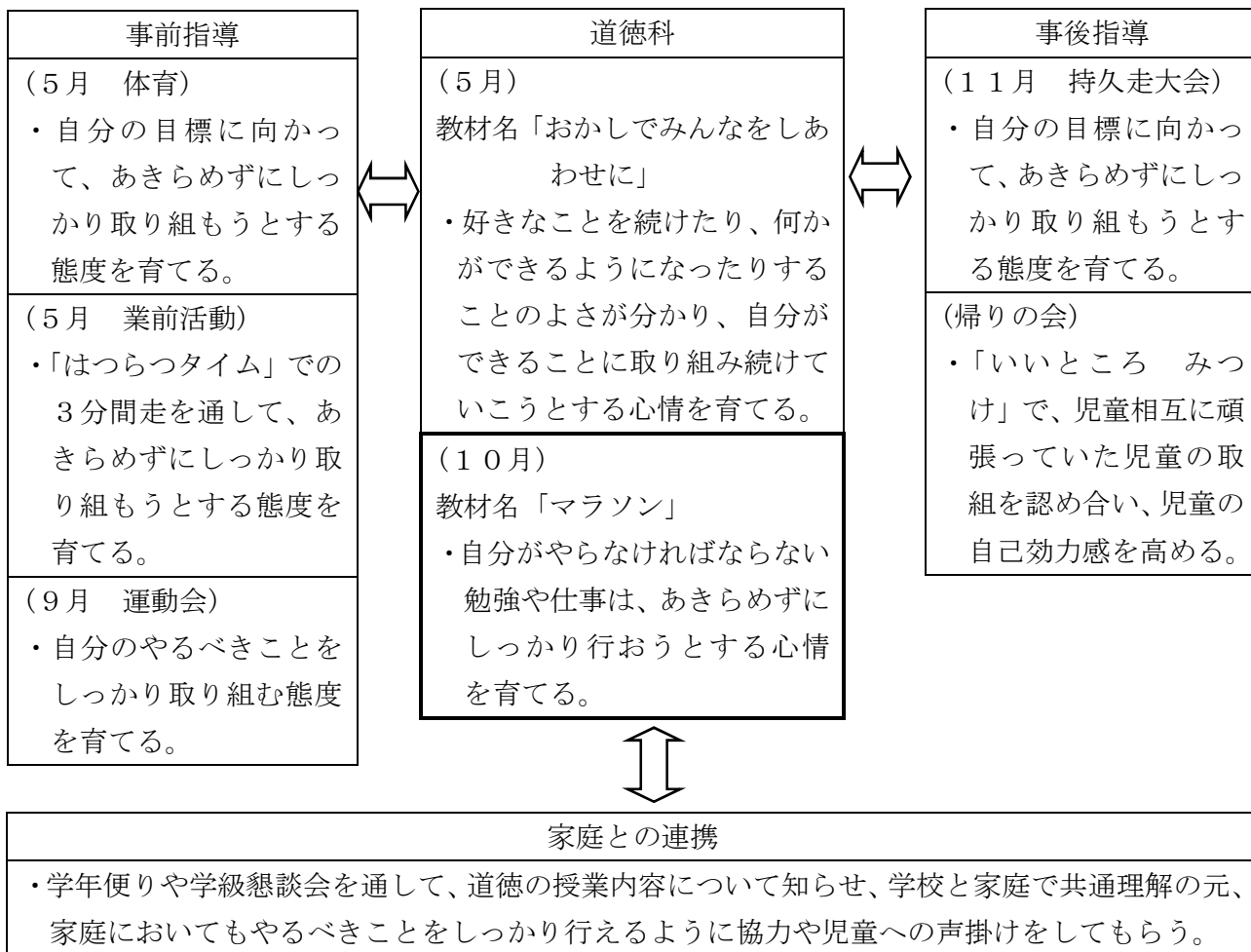
4 学習指導過程

段階	学習活動・主な発問	予想される児童の反応	指導上の留意点☆評価の視点	時間
導入	1 日頃の1年生の様子について知る。	<ul style="list-style-type: none"> 漢字を練習して、書けるようになった。 「はつらつタイム」で、歩かず走りきった。 給食に出た野菜を半分食べた。 	<ul style="list-style-type: none"> 日頃の児童の様子を想起させ、できていること、なかなかできていないことを改めて、捉えさせる。 	3分
		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> もくひょうにむかって、がんばることができていますか。 </div>	<ul style="list-style-type: none"> あきらめずに取り組むことに問題意識をもたせ、ねらいとする道徳的価値への方向付けを図る。 	2分
展開	2 登場人物、条件・状況について知る。		<ul style="list-style-type: none"> 状況を知らせ、登場人物に共感しやすくする。 	30分
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 登場人物 主人公「ゆきお」、あきら 条件・状況 ゆきお：マラソンが苦手 あきら：逆上りを練習している。 </div>			

<p>展 開</p>	<p>3 教材「マラソン」の 範読を聞き、話し合 う。</p> <p>①体育を見学するゆき おは、どんな気持ちで いたでしょう。</p> <p>②逆上がりを練習する あきは、どんな気持 ちでいたでしょう。</p> <p>【補】ゆきおは、あきは をどんな気持ちで見 つめていたでしょう。</p> <p>③元気に校庭に走って いくゆきおの思い。</p> <p>・今日の話合いでは、ど んなことが大切だと</p>	<p>【ゆきおの気持ち】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ずるいことをやってし まった。 ・うそをついてしまった。 ・走らなくてよかったな。 ・苦手だから、やりたくな い。 <p>【あきらの気持ち】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・できるようになりたい。 ・がんばろう！ <p>【あきらを見つめていた ゆきおの気持ち】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・あきは一生懸命やっ てるな。 ・あきらめないでえらい な。 ・できないから練習する のか…。 <p>【自分の反省】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分は、あきらめてい た。 ・ぼくも、マラソン練習を やればよかった。 <p>・あきらめずにやろう。</p> <p>・苦手でも頑張ろう。</p> <p>・あきらめずにやる。</p> <p>・苦手でも頑張る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ゆきおの強い心と弱い心を役 割演技させることで、「自分 はずるいことをやってしま った」「走らずにすんでよか った」と葛藤する心の内を語 れるようにする。 ・ゆきお自身は、教師が演じ、 対立する心の言葉を引き出 せるようにする。 ・主人公「ゆきお」の気持ちだ けではなく、あきらの気持ち も考えることで、多面的・多 角的に考えさせる。 ・「逆上がりを一生懸命練習す るあきら」と、「体育を見学し てしまった自分(ゆきお)」を 対比することで、これからの 自分(ゆきお)の在り方を引き 出せるように話し合う。 ・3人グループ学習を通して、 互いの感じ方や考え方を伝え 合いながら、視野を広げる助 けとする。 <p>☆一生懸命逆上がりの練習を するあきらの気持ちや、あき らが練習する姿を見たゆきお の気持ちについて話し合っ ている。</p> <p>・あきらを見て、変化と共に決 意したゆきおの思いを押さ え、自分が苦手なことでもや りとげることが大切である という考えを押さえる。</p>	
----------------	---	--	--	--

展 開	<p>思いましたか。</p> <p>4 今までの自分を振り返り、これからの生き方について考える。</p> <p>【補】みなさんの中にはゆきおのように弱い心がいたことがありますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目標に向かってがんばることができていますか。 		<ul style="list-style-type: none"> ・本時の課題について振り返る際、自分の中にある弱い心にも視点を向けさせる。改めて自分にもやるべきことをできていないことがあることを自覚させ、しっかり行おうとする意欲をもてるようにする。 ・これからは、勉強や運動、当番の仕事などをどのような気持ちで取り組んでいきたいかを考えさせる。 <p>☆自分のこれまでを振り返るとともに、自分の苦手なことにもしっかり向き合うことの大切さを知り、これからの生き方について考えている。</p> <p>(発表)</p>	8分
終 末	5 教師の話聞く。		<ul style="list-style-type: none"> ・苦手なことや辛かったことから逃げずに頑張った学級児童の話をする。 	2分

5 他の教育活動との関連



6 評価の視点

【物事を多面的・多角的に考えている様子】

- 一生懸命逆上がりの練習をするあきらの気持ちや、あきらが練習する姿を見たゆきおの気持ちについて話し合っている。

【道徳的諸価値についての理解を自分との関わりで深めている様子】

- 自分のこれまでを振り返るとともに、自分のやるべき勉強や仕事をしっかり行うことの大切さを知り、これからの生き方について考えている。

7 板書計画

